

第10回 地域医療連携を勧める会

開催報告

司会の斉藤和則主任副院長のあいさつから始まり、講演は、松本久前院長より『新病院建設に向けて』、ER 瀬恒曜子医師より『東日本大震災支援を通じて』、小児科 中川一医師より『発達障害外来の立ち上げについて』を行いました。



日時:2011年8月27日(土) 16:00~18:30
場所:リーガロイヤルホテル堺 3F 利休
参加:44院所 58名

講演後の感想(一部)

新病院建設に向けて

- 新病院の概要がわかりよかったです。
- 具体的にパースも拝見でき大変参考になりました。今後の順調な行程をお祈りしております。



松本久前院長



ER 瀬恒曜子医師

東日本大震災支援を通じて

- 写真などわかりやすかったです。
- ERの先生が女医でいらっしゃるのにはびっくりしました。
- 実際の支援の様子を伺い、堺市域での災害支援の重要性を考える機会となりました。

発達障害外来の立ち上げについて

- とてもよく研究されている。大いに期待します。堺市医師会講演会などでどんどん講演していただきたい。
- 現在成人の発達障害の方を何人か診ておりますが、小児の段階できちんと方向付けをしておくことの必要性を痛感しました。



小児科 中川一医師



泌尿器科部長、田原秀男医師



懇親会

懇親会は、泌尿器科部長の田原秀男医師により進められ、盛会で終了いたしました。今後のプレゼンテーションの課題のご要望や、当院に対するご意見等いただきまして大変ありがとうございました。今後の参考にさせていただきますと思います。雨により、足もとのお悪い中、多数のご参加ありがとうございました。

がんプロ

ニュース News

がんプロジェクトにより
【がん診療支援センター】が
誕生しました!

がんプロ=がんプロジェクトの略称です。

第1回カンサーボード開催

8月25日(木)がん診療支援センターによる
カンサーボードが開催されました。
カンサーボードには、医師・看護師・薬剤師・
栄養士・MSW・診療情報管理士など多職種が
参加しました。



多職種が一同に会した

進行性子宮頸がん患者の 治療方針について

主治医および婦人科の医師から病状と今後の治療方針が報告されました。病理医(病理組織学的評価)、内科医(各臓器機能評価)、緩和ケア医(適応する緩和治療内容及び包括的がん医療モデル)、薬剤師(レジメン評価)、看護師(婦人科病棟及び外来からの報告)、栄養士、MSWから次々と報告が行われました。

それを踏まえ、他の参加者からの質疑に対する応答やディスカッションを行いました。今後も不定期ではありますが、開催をしていく予定です。是非みなさんにも広く参加していただきたいと思います。これからも、耳原はがん診療向上のためにさまざまな活動を推進して参ります。



主治医によるプレゼンテーション



議事進行を行う木野副院長

主な論点

- ・化学療法治療のメリット・デメリット
- ・緩和医療のタイミングと全人的苦痛
- ・看護師としての支え方
- ・社会的背景と支援
- ・職種間の連携

(この症例の場合は医師⇒MSWへと継ぐことが重要)

カンサーボードとは

従来の縦割りの診療科の垣根を取り払い、外科、内科、腫瘍内科、腫瘍放射線科、麻酔科、腫瘍精神科、緩和医療科、病理、腫瘍看護学、緩和ケア、薬理学、リハビリテーション医学、栄養学、社会心理学などの各専門家が一同に集まり、1つの症

例に対する治療法を包括的に議論する場のこと。さらには医療連携を目的に地域の医師にまで門戸を開いている病院もある。がん診療連携拠点病院の指定要件になっている。

がん相談 Q & A

Q セカンドオピニオンを受けたいのだけど…

セカンドオピニオンを受けたいのですが何だか主治医に悪い気がして…言い出せません。もしセカンドオピニオンを受けて主治医が気を悪くしたら、今後診察を受けることが出来なくなるのではないのでしょうか?

A 大丈夫です。遠慮無く申し出てください。

がん診療に対するがん患者様の意識は、以前に比べて高くなっています。別の医師に、現在の治療法について意見を聞いたり、別の治療法について問合せをするというのは今や珍しいことではありません。そのことは医師も充分認識しており、担当の患者がセカンドオピニオンを受けたとしても気分を害することはありませんので、ご安心ください。主治医に対し何ら罪悪感を感じる必要はありません。

Q PET検査ってどんな検査なの?

現在、抗がん剤治療中です。主治医からPET検査を受けよう言われました。PET検査は、どのような検査なのでしょう。治療中なのに、何を検査するのでしょうか?

A がんの病巣を画像で診断する検査です

正式名称はポジトロン断層撮影法といいます。がん細胞は、増殖するために正常細胞よりたくさんのブドウ糖(グルコース)を必要とします。このためグルコースの代謝を診断するF-FDGを静脈注射すると、がんの病巣にたくさん集まります。集まったところから出る放射線をPET装置で身体の外から検出することにより、「がん」の病巣を画像で診断することができます。「がん」のPET検査は、病巣が悪性か良性かの診断、転移がないか、治療後の再発がないか、病巣が治療に反応しているかどうか調べることができ、治療法や治療範囲を決めるのに大変役立ちます。相談者様の場合、現在行っている抗がん剤がしっかりと病巣に効いているのか評価する目的でPET検査をするのでしよう。

※耳原総合病院ではPET検査は行っておりません。必要な場合は、他施設に紹介させていただいております。

Q 緩和ケア病棟はどんなところなの?

家族が他院でがん治療中です。病状が進行して主治医から「緩和ケア」を検討すると言われて頭が真っ白になりました。「緩和ケア」は、何の治療もしないところだと聞いたことがあります。不安です。

A がんのつらい症状を緩和します。

「緩和ケア」については、誤解されている方が多くいます。何の治療もしないところでは、ありません。手術・抗がん剤・放射線など、がんに対する直接的治療はしませんが、がんによる疼痛や呼吸困難などの症状を緩和する治療をおこないます。病状が落ち着いたり体力が回復して、退院される方もいらっしゃいます。また、心理カウンセラー、リハビリスタッフ、精神科医など多職種により本人はもちろんご家族の心配事や不安に対し、サポートケアします。

Q 緩和ケア病棟の申し込み方法は?

緩和ケア病棟の入院を希望します。どのように申し込みれば良いですか?

A 緩和面談予約をお取りください。

緩和ケア病棟へ入院いただくには、まず緩和面談を受けていただきます。医師と面談し、緩和ケアが適応なのか、適応であればすぐに入院が必要なのか、など判断致します。緩和面談の予約をお取りください。

当院患者様 主治医より手続きします。時期については主治医とご相談ください。

他院主治医
よりの申し込み 耳原総合病院
072-241-0501
月~金 (土・日・祝除く)
PM2:00~PM4:00

他院(個人)、
在宅の方

もしくは、がん相談室へお申し込み
月~金(土・日・祝除く)(AM9:00~PM4:00電話不可)

*面談予約については、現在約2ヶ月待ちとなっております。大阪府下において緩和ケア病棟を有する病院は、とても少なくどの病院でも大変な予約待ちとなっております。お早めに申し込みいただくこと、当院だけでなく複数お申し込みいただくことをおすすめします。

*なお、キャンセルの場合は必ずご連絡をお願いします。

*ひとりでも多くの方が、1日でも早く面談いただくためにご協力をお願いします。